

北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (整理番号)	STOPP/START criteria ver3 を用いた高齢慢性腎臓病患者における不適切または処方漏れの可能性がある薬剤の使用実態調査：単施設後方視的研究 (B24-126)
当院の研究責任者 (所属・職位)	大学病院薬剤部・一般職/薬学部薬物治療学 ・助教 山本悠樹
他の研究機関 および 各施設の研究責任者	なし
本研究の概要・背景・目的	近年、日本では高齢化が進行しております。年齢とともに腎機能は低下するため、高齢化に伴い慢性腎臓病(CKD)患者さんが増加すると予想されています。高齢 CKD 患者さんの多くは、様々な原疾患や合併症を抱えており、使用薬剤数が増加する(多剤併用)傾向が強いとされています。多剤併用に伴う問題として、服薬遵守率の低下や医療費の増大、副作用発現につながる潜在的に不適切な薬剤、本来処方されるべき薬剤の漏れの増加が挙げられています。不適切な薬剤や必要な薬剤の漏れを防ぐ基準として、STOPP/START criteria があります。しかし、その基準が腎機能低下患者さんの不適切な薬剤や必要な薬剤の漏れをどの程度特定できるかは明らかになっておりません。本研究では、STOPP/START criteria を用いて、高齢 CKD 患者さんにおける不適切な薬剤や必要な薬剤の漏れの使用割合やその種類などの実態を明らかにすることを目的とします。
調査データ 該当期間	2023年4月1日から2023年6月30日までに入院した患者さんの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	上記期間内に当院に入院された患者さん
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2023年4月1日から2023年6月30日までに入院された患者さんの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始 する予定日	利用又は提供開始予定日： 研究期間の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、薬学部薬物治療学 の研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。

お問い合わせ先	<p>本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので申し出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。</p> <p>照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 所属・職位：薬剤部・一般職/薬学部薬物治療学 ・助教 担 当 者：山本悠樹(ヤマモトハルキ) 電 話：042-778-8089</p>
備 考	